

科目ナンバリング											
授業科目名 <英訳>		朝鮮語ⅠA（演習）K1202 Primary Korean A				担当者所属 職名・氏名		人間・環境学研究科 教授 小倉 紀蔵			
群	外国語科目群			分野(分類)					使用言語	日本語	
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（外国語）（対面授業科目）				
開講年度・ 開講期	2024・前期		曜時限	金4		配当学年	全回生	対象学生	全学向		
【授業の概要・目的】											
朝鮮語は日本語と文法構造がよく似ている言語であり、語彙も特に漢字語は日本語と共通のものが多く、習得しやすい外国語である。しかし「ハングル」という見慣れぬ文字で表記されている上、発音が複雑なので、文字と発音の基礎はみっちりトレーニングする必要がある。 この授業ではまず朝鮮語の文字と発音を正確にマスターし、次に朝鮮語の文法を段階的に習得しつつ、朝鮮半島の文化・社会・歴史などに関する知識を身につけながら、それに関連した表現方法を運用する能力を養うことを目的とする。 【注意】本学で「朝鮮語」というのは、朝鮮半島すなわち韓国（大韓民国）と北朝鮮（朝鮮民主主義人民共和国）で使用されている言語のことである。この両国で使用されている言語には若干の相違が認められるが、大差はない。なお、特に韓国で使用されている言語を指すときには「韓国語」という呼称を用いる。											
【到達目標】											
朝鮮語の文字と発音を正確にマスターする。 朝鮮語の初歩の文法を段階的に習得する。 朝鮮半島の文化・社会・歴史などに関する知識を身につける。 初歩的な表現方法を運用する能力を養う。											
【授業計画と内容】											
授業は毎回、配布されるプリントの内容に則って進められる。特に最初の段階では文字と発音を正確に習得することが要求される。 文字と発音の練習をおよそ5回ほどの授業で終えた後は、この言語を使用する人たちが暮らす朝鮮半島の文化・社会・歴史などについて学び、考えながら、言語を習得してゆく。 第01回 ハングルの文字と発音 1 第02回 ハングルの文字と発音 2 第03回 ハングルの文字と発音 3 第04回 ハングルの文字と発音 4 第05回 ハングルの文字と発音 5 第06回 朝鮮半島の文化 1 第07回 朝鮮半島の文化 2 第08回 朝鮮半島の社会 1 第09回 中間試験 第10回 朝鮮半島の社会 2 第11回 朝鮮半島の歴史 1 第12回 朝鮮半島の歴史 2 第13回 朝鮮半島の政治・経済・日韓関係 1 第14回 朝鮮半島の政治・経済・日韓関係 2 第15回 試験											
----- 朝鮮語ⅠA（演習）K1202(2)へ続く↓↓↓ -----											

朝鮮語ⅠA（演習）K1202(2)

[履修要件]

「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。

[成績評価の方法・観点]

成績評価は、平常点、中間試験および定期試験によって行う。成績評価基準の詳細については、授業中に説明する。

[教科書]

使用しない
プリントを配布する。

[授業外学修（予習・復習）等]

毎回のプリントの文章を訳すだけでなくすべて丸ごと暗記する。

[その他（オフィスアワー等）]